



## 温室効果ガス排出量削減目標に向けた施策

日油は、2030年度までに2013年度比で40%の温室効果ガス削減を中期目標とし、カーボンニュートラルを目指すことを長期目標として掲げています。25中期計画期間は、次期中期計画期間での実行に向けての削減施策の積上げ期間として位置付けており、生産設備増強に伴う排出量の増加を抑えながら、削減を進めます。

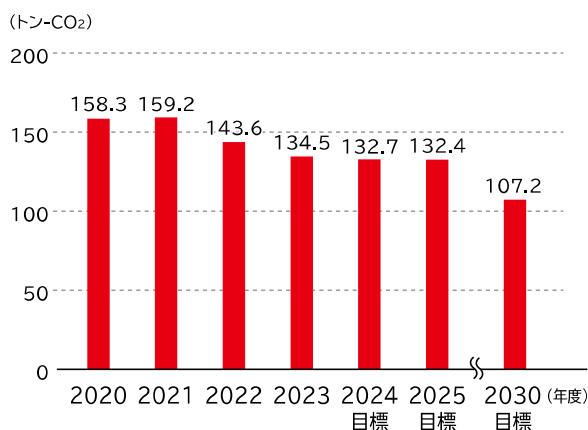
具体的な施策として、再生可能エネルギーの利用を増やすため、設備の電化を促進し炭素排出の削減を図ります。さらに、生産工程の見直しに取り組み、エネルギー使用量の削減や排出物の最小化、再生可能エネルギーの活用など、環境への影響を最小限に抑えるための改善策を検討しています。また、燃料転換や非化石証書付電力の導入拡大も計画しています。

25中期計画期間では、21億円の環境投資を計画しています。さらに、再生可能エネルギーへの転換や脱炭素化に向けたビジネスモデルへの転換を加速させるため、インターナルカーボンプライシングの導入の検討のため、試験的に社内炭素価格を設定し、経済性判断の参考となる取り組みを開始しています。

私たちは、持続可能な未来を実現するために積極

的な行動を起こし、地球温暖化の緩和に貢献してまいります。

### 温室効果ガス排出量 国内グループ



## スコープ3を含むGHG削減戦略

日油は、CSRガイドラインの制定とともに、サプライチェーン全体における温室効果ガスの削減対策への取り組みを宣言しています。私たちは、サプライヤーとのパートナーシップ構築宣言を行い、持続可能な調達活動を推進しています。また、スコープ3の温室効果ガス排出量を評価し、それに対応した取り組みを進めています。

また、私たちはクリーンテック企業として、気候変動緩和や適応に寄与する環境関連製品群を開示して

います。これらの製品は、サプライチェーン全体での温室効果ガス削減に貢献するものです。

さらに、TCFD提言への賛同を表明し、気候関連のリスク低減と成長機会の創出に努めています。私たちは日化協レスポンシブル・ケア活動の一環として、サプライヤーや地域との対話活動にも積極的に参画しています。

また、サプライチェーンにおける脱炭素のイノベーションにも取り組んでいます。産学連携プロジェクトによるバイオマス由来原料や未利用廃熱の有効活用を研究開発しています。これにより、スコープ3における温室効果ガス排出量の削減と、サプライチェーン全体の持続可能性を向上させています。